

教育講師制度の創生

著者	岡村 甫
雑誌名	高知工科大学紀要
巻	7
号	1
ページ	139-141
発行年	2010-07-29
その他のタイトル	Creation of Educational Lecturer System
URL	http://hdl.handle.net/10173/538

教育講師制度の創生

岡村 甫

(受領日：2010年4月15日)

高知工科大学・理事長
(前学長)

〒 782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185

E-mail: okamura.hajime@kochi-tech.ac.jp

大学において教員の研究と教育を支援する若い労働者は必要であるが、その職に就いて長くその地位にいることは本人にとって望ましいことではない。米国の大学では、大学院学生がパートタイムの助手として、教育や研究の補助に従事している。この制度によって、生活費の確保と大学院終了後に就く職業についての訓練ができるメリットが学生にあり、教員には有能なアシスタントを安価に雇用できるメリットがある。ドイツの古い大学では、大講座制の下で雇用された助手は博士論文を書き終わるまで、研究と教育のアシスタントを務める。いずれにしても博士の称号を受けるまでの職である。一方、日本の大学では、パーマネントな職としての助手制度が存在する。教授にとってはきわめて良い制度ではあるが、博士号をとって本来ならば研究・教育を自立して行う権利がある助手にとっては不幸な制度である。高知工科大学でも 1997 年の開学以来、最小限必要な助手として、5 学科に各学科 2 名、合計 10 名が配置されており、その多くはすでに博士号を持っていた。

末松安晴学長が 4 年間勤められて、大学が軌道にのり始めた 2001 年に 2 代目の学長に就任するに当たって、末松学長が強力なリーダーシップで行ってきたことをシステムによって行うことを私の 4 年間の使命とした。平凡な学長によっても行えるシステム作りである。そのひとつが旧来の助手制度を廃止し、その機能を充実強化するために、修士課程学生による教育アシスタント制度、博士課程学生による研究アシスタント制度および本題の教育講師制度の創設である。

助手の役割である教育支援は、修士学生の大部

分が参加する教育アシスタント制度を充実させることである程度カバーできるが、本格的な支援は教育講師制度の新設によることとした。研究支援は、博士課程学生に頼るシステム、すなわち、授業料を免除し、月額 10 万円の研究アシスタントシップを支払う条件で、世界中、特に、わが国と縁の深い中国東北地域を重点地区として、博士課程学生を募集するシステムを採用した。この制度を開始して、本年 3 月で 7 年を経過し、その間に入学した博士課程留学生は 106 名、博士号を取得した学生は 63 名に達している。なお、これらの学生助手のほかに、研究プロジェクトごとに研究費で短期採用する助手制度を創設して現在に至っている。これらの新しい制度によって、旧来の助手制度が廃止できたのである。

就職センター長の河田耕一教授（現名誉教授、現高知県教育長）は、本学において、学生が成長するかどうかは 1 年次に決まることを資料の分析から掴んでいた。高校までは受身の授業態度でもよいが、大学になると自らが主体的に勉学その他と取り組まなければならない。すなわち、生徒から学生に変身する必要がある。それを支援する役目を新設の教育講師に託すことにし、少人数教育科目を新設し、教育内容は河田教授に一任した。

わが国は高齢化社会に突入して、すでに相当な年月を経ているにもかかわらず、会社で一仕事を終えた 60 歳を超えた人が、生きがいをもって、人生をまっとうする仕組ができていない。多くの健康で有用な人たちが生きがいを求めている。この人たちに、大学での助手の役割のひとつである教育支援をしていただくのが教育講師制度に他ならない。給与は助手以下で、ボランティア的に、

若人の成長に手を貸すことを、第二の人生の喜びとしていただくこと conditions で、教育講師の募集を行った。予想通り、大きな反響があり、全国各地から 100 名以上の応募があり、その中から、各学科 2 名、合計 10 名の極めて意欲的な教育講師を採用することができた。

最初は主として、1 年次の学生を対象としていたが、大学での教育に慣れてくるにしたがって、2 年次あるいは 3 年次の教育や就職の世話まで見ていただくようになった。この制度の益々の発展を期待している。

Creation of Educational Lecturer System

Hajime Okamura

(Received : April 15th, 2010)

Chair, Board of Trustees (Former President)
Kochi University of Technology

185 Miyanokuchi, Tosayamada, Kami city, Kochi Prefecture, Japan 782-8502

E-mail : okamura.hajime@kochi-tech.ac.jp

Abstract: To make Kochi University of Technology up to a modern university in which all members work for education and research with happiness and satisfaction, I created an educational lecturer system as well as the Special Scholarship Program when I became the president in 2001. The educational lecturer having abundant social experiences successfully teaches freshmen and sophomores to promote professional consciousness. In addition, beyond my expectations, the ten to thirteen educational lecturers enthusiastically act as the vocational advisor to students.